

# 便潜血検査で陽性になったら、 精密検査を受けていますか？



便潜血検査とは、大腸がんの死亡率を減少させることが科学的に認められた検査です

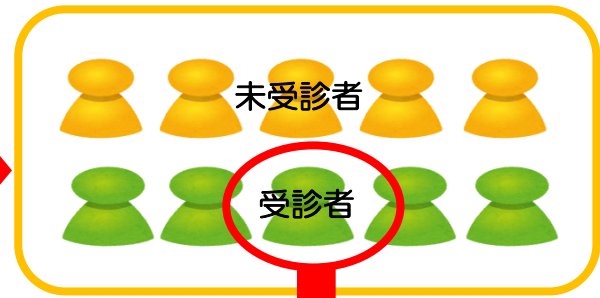
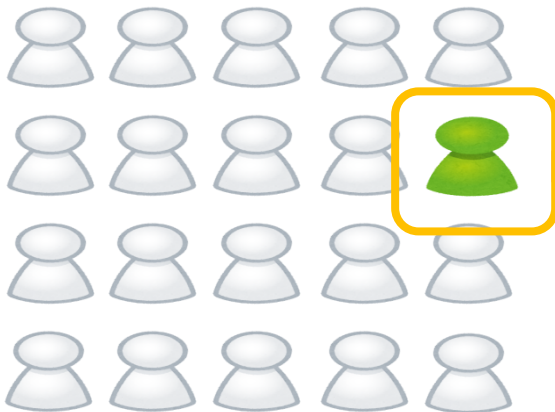
便潜血陽性とは、採取した便に血液が混じっていることをいいます。  
人の血液に含まれている赤血球中のヘモグロビンに対する特異的な抗体を用いた検査です。大腸、直腸からの出血がある場合のみ陽性になります。



## 当院の2018年度の便潜血検査実施状況

便潜血検査を受けた12605名のうち、  
5%(646名)が要精密検査となりました。

315名は精密検査を受けられていません。



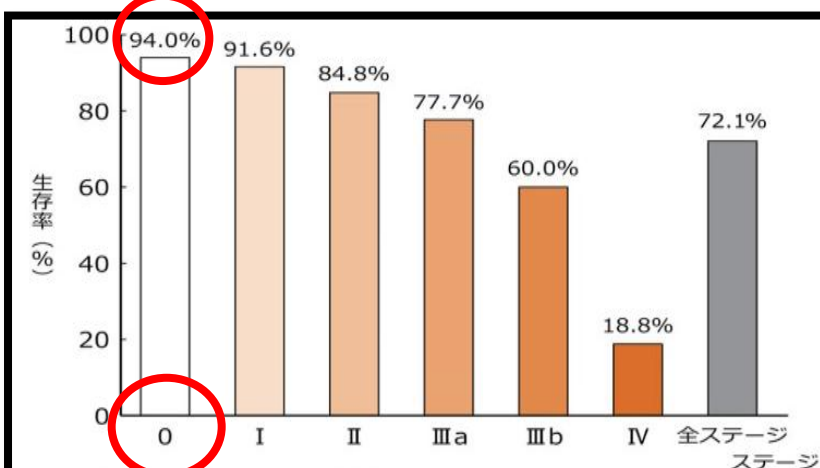
315名

331名

この中で51%(331名)の方が  
精密検査を受けられました。  
精密検査受診者のうち2.7%(9名)が

**「大腸がん」**と診断されました。

【大腸がんの5年生存率】



大腸がんは早期に発見して治療すれば  
ほぼ治癒が可能です。

便潜血陽性だった場合は

大腸内視鏡検査による

**必ず精密検査を  
受けて下さい**

大腸癌研究会,全国登録 2000~2004年症例  
(注)ステージIIIはリンパ節への転移の状態でIIIaとIIIbに分けられる(調査当時の分類。現在ではより細かく、IIIa、IIIb、IIIcに分けられる)。  
雑誌智也(著)・高橋慶一(監修)『大腸がん 最新標準治療とセカンドオピニオン』p34より転載

2020.8作成

